

第1期「深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のまとめ

2015年度から2019年度の5年間を戦略期間として策定した第1期の「深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、総合戦略に設定した69項目の数値目標及び重要業績評価指標（KPI）の4年経過後の進捗状況を見ると、「A順調」が21項目30.4%、「B概ね順調」が14項目20.3%となり、進捗が良好と判断できるものの合計は35項目50.7%となっています。

これに対し、「Cやや遅れ」が19項目27.5%、「D遅れ」が10項目14.5%と、合計42%の項目の進捗が遅れている状況となりました。

なお、工業製造業出荷額、健康寿命といった国や北海道で公表している統計数値を数値目標やKPIとしている項目については、平成30年度に統計数値が公表されなかったなどを理由に5項目7.3%を「E不明」としています。

本市における第1期の地方創生のまとめについては、4年経過後の最新の進捗状況と過去の実績を踏まえると、さまざまな要因（販売額の増加、自然災害、人材不足等）により、各項目の進捗にはその都度変動があるものの、数値目標及びKPIの目標達成に資する100を超える事務事業の実施とその実績は、本市の地方創生に一定の効果があつたものと判断しています。

しかし、数値目標及びKPIの進捗として、「Cやや遅れ」や「D遅れ」となっている項目が全体の約4割となっていることから、事務事業について新たな視点も取り入れながら必要な見直しを行うとともに、目標値の設定方法も含め、そのあり方を検討する必要があると考えますので、引き続き担当課及び庁内検討委員会で協議を進め、深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会をはじめ市民の意見を踏まえながら、地方創生に資する事業展開を図っていく必要があります。

なお、第2期の深川市まち・ひと・しごと総合戦略の策定については、既に国が示した「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」や今後国が示す総合戦略、そして、第1期のまとめとなる上記の判断を勘案し、現在、本市総合戦略で掲げている4つの基本目標を引き続き維持していくとともに、必要な強化を図った上で次期戦略を策定することとします。